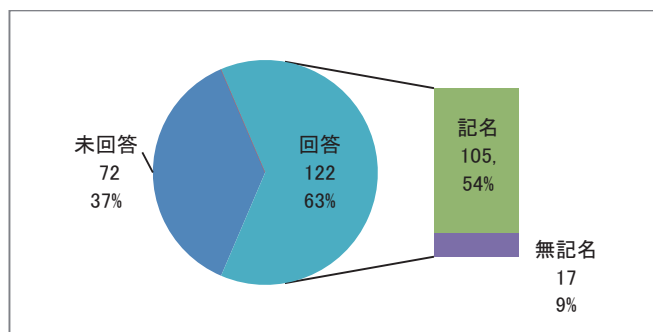


第4回 RA 研究会（2012年9月4日）「参加者アンケート」

★今後の RA 研究会運営の参考とするため、アンケートにご協力願います。ご記入いただいた情報は適切に管理するとともに、このアンケート調査の結果は RA 研究会運営の改善、フォローアップのために利用します。

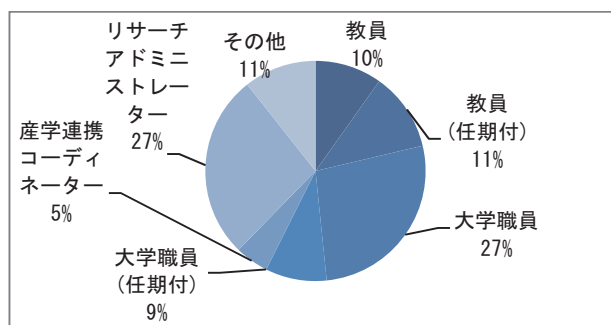
アンケート	人数
回答	122
（内訳/記名）	105
（内訳/無記名）	17
未回答	72
総参加者数	194



【あなたご自身又は所属する機関について】

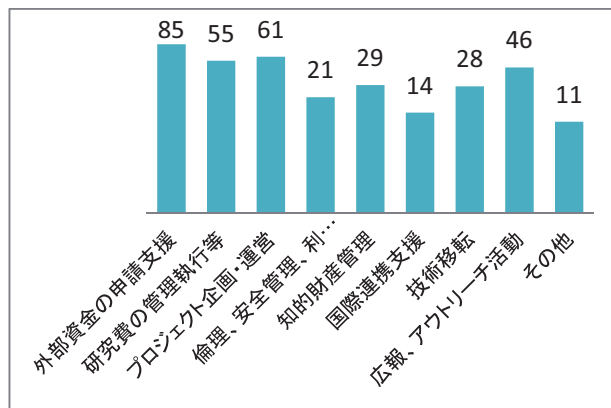
質問 1 現在の職種を次からお選びください。

職種	人数
教員	12
教員(任期付)	14
大学職員	33
大学職員(任期付)	11
産学連携コーディネーター	6
リサーチアドミニストレーター	33
その他	13
総計	122



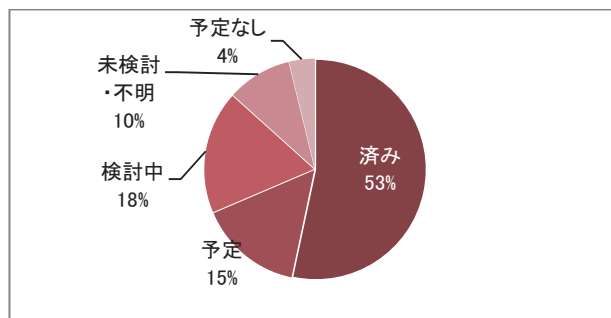
質問 2 研究推進支援に関する業務に携わっていますか？携わっている場合は、該当する項目全てにチェックをしてください。

業務	人数
外部資金の申請支援	85
研究費の管理執行等	55
プロジェクト企画・運営	61
産学連携、共同研究	47
倫理、安全管理、利益相反	21
知的財産管理	29
国際連携支援	14
技術移転	28
広報、アウトリーチ活動	46
その他	11



質問 3 あなたの所属する大学等において、リサーチアドミニストレーターなどの研究マネジメント職を導入する予定はありますか。

RA の導入	人数
済み	56
予定	16
検討中	19
未検討・不明	10
予定なし	4
総計	105



質問4 あなたが本日の RA 研究会に参加された理由をお聞かせください。

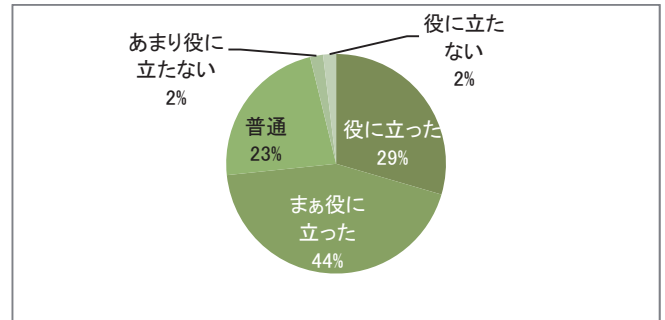
- ・ 主催校であるから
- ・ 情報交換 ②今後の URA の方向性、将来性について考えるため
- ・ URA 業務にかかわっているため情報収集のため
- ・ 将来の参考として
- ・ RA についての現状を知るため
- ・ 本年度採択校として情報収集
- ・ ネットワーク形成、新たな知識・情報の取得
- ・ URA の役割とくに研究のグローバルな展開に必要な組織・環境づくり、そのための情報の管理、ネットワーク作業など
- ・ 内容が幅広くてまだまだついていけない点がありました。人材育成(WS2)で初級というお話がありましたが、階層別な会もあってはと思いました。
- ・ 研究プログラム作成校だから
- ・ URA に興味があったため
- ・ 情報収集
- ・ 勉強/ネットワーク形成
- ・ 業務として RA 活動を考えている為
- ・ 日本の RA 事業を把握し、どのような人が実際業務に従事しているか知りたかったため
- ・ RA 職に関心があるため(RA になる可能性がある)
- ・ 医療イノベーション 5 年戦略に示されている「創薬支援ネットワーク事業」を本研究所が担当することになったことから、RA 業務を参考にしつつ連携していきたいと考えています。
- ・ RA の内容をさらに知りたかったため
- ・ 附属研究所の定言に関して、URA を参考にしたかった
- ・ URA に関して各大学の動向を確認するため
- ・ 産官学連携センターで事務として CD と共に上記 2 の活動をしているが、研究支援センターで投入予定の URA と対立なく、いかに協働できるかをさぐる為
- ・ URA 組織整備のため
- ・ キャリアアップのヒントを得るため
- ・ 最近の RA の状況を把握するため
- ・ リサーチアドミニストレーターの職域、組織体制の構築に関心があったため
- ・ 今後の導入に向けた情報収集
- ・ 大学の活動の一環
- ・ 業務上必要である。個人的にも興味もある。
- ・ 本学の URA の仕組みの改善の参考に資するため
- ・ 本学に URA を導入するための情報収集
- ・ 各大学の取組と組織整備状況に関心があったため。URA のネットワーキング
- ・ URA の業務について学びたかった。情報交換、ネットワーク作り
- ・ 産学官連携による国益の確立に関連するかどうかを知る為。
- ・ 興味があったため
- ・ 他大学の RA 活動を知りたい。
- ・ 情報収集、先行大学の動向把握～本学における検討
- ・ 最新の動向の把握
- ・ 民間企業として何がお手伝いできるかを知りたい。
- ・ 情報収集、意見交換など
- ・ URA について現状を理解する為。
- ・ URA 導入に向けての参考としたい。
- ・ アドミニストレーターに対する理解増進
- ・ 学内における URA の位置付けと、従来の産学連携担当職員の専門職化の推進の手掛かりをつかむ為。
- ・ まだこの4月に組織的に立ち上げたばかりで、具体化に向けて他大学の状況をお聞きしたいと考え参加。
- ・ 今後自大学において URA 制度の拡充が計画されており、参考とする為。
- ・ 立ち上げ直後のため、情報収集、ネットワークづくり
- ・ 本学の URA 構築の参考にするため。
- ・ 他大学の RA 整備状況を知るため。
- ・ 導入を予定している RA と大学職員との協働について知りたい。
- ・ 他大学における取り組みの状況について情報収集するため。
- ・ 大学理事会に提案したいと思い、情報収集の為に参加させて頂きました。
- ・ 今年度より URA が整備されるため、情報収集をしたいと思い。

- ・ 大学における RA の定着に向け、種々情報収集を行い、今後の参考とするため。
- ・ 他大学のとりくみを知りたい。
- ・ 所属大学が H24 年度の URA に採択されたから。
- ・ 勉強のため。各大学の情報収集。人的交流。
- ・ 上司の指示
- ・ 情報収集
- ・ URA ネットワークの形成に向けた情報収集と人的交流
- ・ ネットワークの形成のため
- ・ URA 職の発展と業務構築の検討をしたいと思って
- ・ 担当職務の業務内容に合致する点が多いため
- ・ 情報収集のため
- ・ 分担して情報収集のため
- ・ 本学が文科省の URA に応募した際に私自身も少し関わったので、URA について理解を深めたかったから。
- ・ URA の機能と考え、どういう機能を担う役割なのかを勉強するため。但し、機能というより
- ・ 他大学がどのような組織体制のもと URA を導入しているか、給与体系はどのような形か把握するため
- ・ 研究者の研究時間を獲得するのに RA が役立ちそうだから
- ・ URA としての職務のため
- ・ 自分のキャリアパス構築のため
- ・ 他大学の情報収集
- ・ URA の現状把握
- ・ 導入を検討しているため
- ・ 多様な機能が想定される URA、日本版 URA のあるべき姿を考える。「本当に日本の大学を活性化するためには何ができるのか」を意識して聴講したい。
- ・ URA の皆様のニーズを把握したかったため
- ・ 現在の URA 関連トピックの状況把握のため
- ・ URA の業務の発展のために何ができるか考える参考にしたいから。
- ・ 発表と RA への興味
- ・ 他大学の取組などの情報収集のため。ネットワーク作りのため。日本版 URA の議論に興味があったため
- ・ RA への転職を考えており、RA について更に知りたいと考えているため
- ・ ポスター発表のため。他校の取組内容に関する情報収集
- ・ 他大学の動向把握のため
- ・ 大学間における RA のネットワーク形成、ならびに情報共有のため
- ・ RA の動向に関心があるため。
- ・ 職場の人にすすめられたため
- ・ 人材育成に活かしたい
- ・ 他大学の取組について知りたかった。URA 同士のネットワークを作りたいかった。
- ・ RA の活動の実態とあるべき姿について知見を得るため。
- ・ 情報収集
- ・ 他機関の取り組みや情報の収集
- ・ 10 月から URA になりますので、業務について勉強のため。
- ・ 採択校である為
- ・ URA の方向性と事務職員としての業務・職務のあり方を考察するため。
- ・ 昨年 8 月より広島大学で RA として活動しているものの、同職の者が 1 人もおらず、みえない部分が多かった。この会に参加することで NW 形成と情報交換をぜひ行いたかった。
- ・ 今後の業務に活かしたいから。
- ・ 紹介

【本日のRA研究会について】

質問 5 本日の RA 研究会はお役に立つものでしたか？また、その理由をご記入ください。

会議の役立ち	人数
5 役に立った	31
4 まあ役に立った	46
3 普通	24
2 あまり役に立たない	2
1 役に立たない	2
総計	105



<コメント>

5 役に立った

- ・ 産学連携にも変化がみらえることがよくわかった。
- ・ 各大学の情報を聞くことができた
- ・ 第一線の RA の方と課題意識を共有することができた
- ・ WSに参加していないが、URA についての議論の場を提供することは・・(以下記載なし)
- ・ 知らないことが明かくなった。
- ・ 議論を行う事が出来た。(座学だけでなく)
- ・ 米国および日本国内の現状について勉強になりました。
- ・ URA として求められている人物像、ニーズについて聞いてよかった。
- ・ 知り合いが増えたこと。URA 研究会の将来について議論が深まったこと。
- ・ WS やポスター発表など非常に参考になることが多かった
- ・ 最新の動向が判る。現状の雰囲気判る。
- ・ RA の表面では見えない考え方をしることができた
- ・ ワークショップの内容が大変興味深かった。
- ・ 大学によってかなり異なる形で RA 事業を進めていることがわかった。良い所をとり入れていきたい。
- ・ 他大学の URA 事業先行例を聞くことができたため。URA 導入にかかる課題を共有できたため。
- ・ 熱いパワーを感じた。

4 まあ役に立った

- ・ 色々な意見が聞けた
- ・ 私の職種が特殊なため、直接に関わる話が少なかった。
- ・ 新しい情報を得たこと、人のつながりができたこと
- ・ 産学連携と RA の違いがわかったように思います。
- ・ RA とは何かという定義と求められるものが各大学によって異なる等、共通認識を初めに固めておくことによりよく内容活用できたのでは。RA とは何かというコンセプトに個人によってバラつきがあることがわかりました。
- ・ 多様な意見が聞けた
- ・ 各大学の苦勞がわかり、これからのヒントを得た
- ・ 様々な大学関係者の考えを聴くことができた。
- ・ URA の方々の考え、URA の動いている組織について理解できた。
- ・ 多様な情報、意見を得ることができ、今後の参考となった。
- ・ URA の組織についてポスターセッションにおいて他大学の例を知ることができて、参考になった。
- ・ 時間が短すぎた。実務者や若手の議論の場があってもよいのでは？分科会？
- ・ どんな方々が参加しているのか円グラフなどで表示され、また会場内で挙手をしたりしてよくわかった。URA のイメージが少しわいた。
- ・ この種の関連の仕事について 4 か月余りと日が浅く、自分は何に注力すべきかを整理している段階であり参考になった。
- ・ RA 役割、位置づけがまだ不明確であることがわかった。というよりは、何でもやれる可能性のある職だと思った。いろいろな背景のある人が集まるは興味深い。
- ・ 各大学の取組の概要が把握できた。
- ・ 導入校の実例、乾燥が聞いて三光になった
- ・ 各大学の動向がよくわかった
- ・ 様々な意見が聞けた。
- ・ ポスター発表がよかった。(時間が少なかった)

3 普通

- ・ URA による大学の強化(研究力)の有効性及び研究戦略の展望を持った
- ・ 実務者の意見が出しにくい
- ・ URA そのものよりも既存の組織との融合の観点が少し欠けていて、その部分が不満。
- ・ 状況はつかめたが目新しいことはあまりなかった。
- ・ URA の業務内容が理解できた。
- ・ 内容がどっちつかず
- ・ 各大学関係者のかかえる問題(悩み?)を知るに留まる内容だったように思う。特に新しい情報は得られなかった。
- ・ 研究者(PI)に役立つ URA という視点が、回を追うのにつれて弱まっている。もっと現場に密着しないと必要とされなくなるのではと心配。
- ・ 早稲田大学に受託している人材育成研修プログラムの概要がわかった

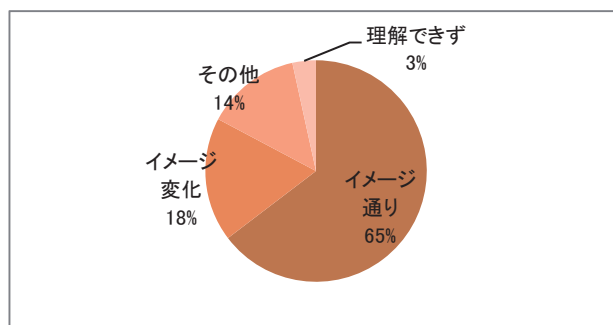
2 あまり役に立たない

1 役に立たない

- ・ URA 自体が日本で導入されて時間が経っていないためか、各大学が手探り状況であり、画一的なものが見い出せなかったため。

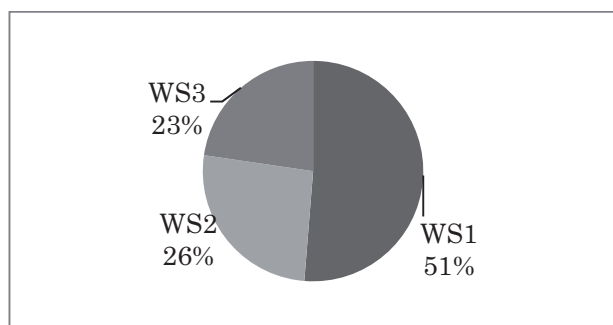
質問 6 本日の RA 研究会を通してリサーチアドミニストレーターという職種を理解できましたか？

RA のイメージ	人数
イメージ通り	75
イメージ変化	21
その他	16
理解できず	4
総計	116



質問 7 本日の RA 研究会で参加したワークショップは何ですか？

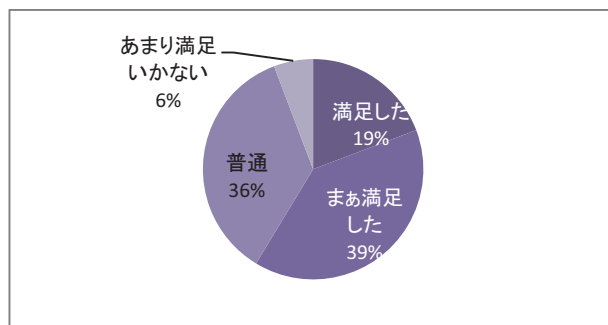
参加 WS	人数
WS1	61
WS2	31
WS3	27
総計	119



- WS1 「研究者ニーズと日本版 URA のあるべき姿」
- WS2 「日本版 URA 人材の育成」
- WS3 「日本版 URA の外部ネットワーク形成」

質問 8 本日参加したワークショップの内容についてお聞かせください。また、その理由をご記入ください。

WS の満足度	人数
5 満足した	20
4 まあ満足した	41
3 普通	37
2 あまり満足いかない	6
1 不満足	0
総計	104



<コメント>

5 満足した

- ・ 池田先生の発表が、ニーズの整理や実務経験に基づいたお話が非常に参考になった。とてもよかったです。
- ・ コーディネーターとリサーチアドミニストレーターの違いがわかりやすかった
- ・ 人事制度構築のためのネットワークの必要性を認識
- ・ リサーチアドミニストレーターの活躍する職域について新たな発見や考え方を知ることができたため
- ・ WS1&2 が難しくなると想像して WS3 に行きましたが、面白かったです。
- ・ URA の意味を理解することができた。
- ・ ただし、事例がほしかった。
- ・ 現在の状況がわかった。

4 まあ満足した

- ・ 色々な意見が聞けた
- ・ 武田先生の話は、経験を踏まえた話だったので有益でした。
- ・ 新潟大学では、11 大学によるコンソーシアム活動(UCIP)を行っており、それとの共通点など勉強になりました。
- ・ 質問 5 に同じ
- ・ ネットワーク形成においては、他者に負けない自分の専門領域をもつということが重要だと学ぶことができました。
- ・ もう少し踏み込んだ議論ができれば良かったと感じた。
- ・ 本日のワークショップに参加して、URA の教育プログラムや評価制度を作り上げてゆく上で参考になる点が多かった。
- ・ 時間が不足したが、まずまず
- ・ 私は初心者なので、若干難しかった
- ・ 自分は必ずしも URA になった訳ではなく、大学の研究会月をよりよくする為にという目的で参加したので、整理の一助になったことと、国際課という視点を GET できた。
- ・ 最新動向が判る。
- ・ URA の基本的なスキル・人材像がある程度把握できた。
- ・ 議論・質問など興味深く聴かせていただいた。
- ・ 池田先生のお話で、大学の執行部や研究者の意識がよくわかった
- ・ 日本版 URA がいまいち整理できなかった。
- ・ 内容は知っていたので、でも意見は参考になりました。
- ・ ネットワークよりは URA のあり方、定義自体の議論に時間を要した。
- ・ 早稲田大学で作成中のプログラムが理解できた。
- ・ URA のあるべき姿(研究者ニーズに絞って)という話からずれて、組織論の話になったため。

3 普通

- ・ もう少しつっこんだお話しが聞きたかった。
- ・ ラポラツールであったため議論に参加できなかったが、考えが整理できた。
- ・ プレゼンの後にいろいろ多岐にわたり質疑応答があったが、プレゼンの際に特にココの部分について意見を欲する旨、具体的な問題定義を行えば、更に意見を言いやすくなったのではないかと。意図的と思うが、プレゼン資料の冊子の文字がぼやけていて読めなかった。残念である。
- ・ 学長、理事、部局長の望む点等での URA 像の紹介があった点。
- ・ URA のあるべき姿についての議論が一面的過ぎた。従来の大学文化との関連で
- ・ URA の現状の理解ができたと思う。
- ・ 研究会としてはそこそだが、次回はより議論できるような場づくりを。
- ・ 議論の基盤(前提)が共有されていなかったためか、brain storming 的な discussion だった。今後の定期的な disc.へ期待。
- ・ スピーカーの話はポイントがまとめられていて、経験的に感じていたことが体系化されてよかった。
- ・ それぞれの立場でニーズが異なることがわかり、参考になった。
- ・ もう少し各大学の組織体制+給与体系などを聞けばよかった。

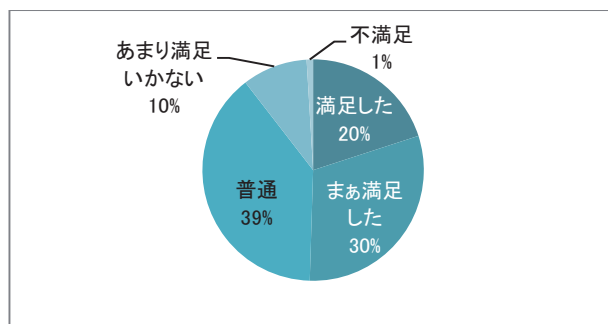
- ・ 議論すべきことは色々あるのになんとなく消化不良のように感じた。ただ個々の人達の背景が様々で、大学によっても様々な URA 形態があるということが、わかっただけでも満足。
- ・ ルール?の概要説明は参考になった。

2 あまり満足いかない

- ・ 初級レベルのトピックを設定することはそれほど難しいことではないので、中級以上の内容あるいは講義(座学)では学べないことについての提案が欲しかったです。
- ・ 議論する時間が足りなかった
- ・ URA のイメージ及び具体的な職の内容について、もう少し掘り下げが必要という気がした。
- ・ 論点がまとまらなくなりました。もっと論点の整理が必要。

質問 9 本日の RA 研究会の運営、プログラム構成、時間配分等についてお聞かせください。また、その理由をご記入ください。

運営	人数
5 満足した	21
4 まあ満足した	32
3 普通	41
2 あまり満足いかない	10
1 不満足	1
総計	105



<コメント>

5 満足した

- ・ 時間配分も丁度よかった。運営が素晴らしかったです。ありがとうございました。
- ・ WS では参加させている方々の事をもう少し知れば、議論が深まった気がします。自己紹介の時間を設けるとか参加者リストを配布するのはいかがでしょうか。
- ・ 多様なメニューで楽しむことができた。
- ・ よい構成でした。
- ・ すこしポスター発表の時間が短かった。

4 まあ満足した

- ・ 良かったと思います。
- ・ 冷房が効きすぎて寒かった
- ・ 短すぎず、長すぎず、ちょうどよかった
- ・ 実務的なディスカッション必要。
- ・ 時間が長すぎず短すぎず適当だった。
- ・ 火曜日の午後のクロージングでもある通り、今後の研究会のあり方が難しいのかなと思いました。
- ・ 適度に時間が配分されて満足
- ・ 内容は有意義であったが、より細分化し、ふみこんだ講義ができるとさらに良くなると思う。
- ・ レジストレーション等大変スムーズだったと思います。
- ・ ポスター発表の時間はもう少しあった方がよい。
- ・ ポスターセッションの時間が結局コアタイムだけだった(他の時間は人が立っていない)がもう少し時間があればと思った。

3 普通

- ・ もう少しギロンが深まれば
- ・ 全体会議は高橋さんのすばらしいファシリテーションで面白かったのですが、それゆえ時間が短く感じました。もう少し方向性が見えるところまで議論が進めばと感じました。
- ・ 全体を長くしてもよいので、発表(全体)を2本ほど(各20分位)あると良いのでは? ポスターセッションの時間を長くしてほしい(あと30分くらい)
- ・ 実務者同士が議論できる場があれば良いと思いました。
- ・ ポスターの時間が短いと思う。
- ・ 総会討論か時間が十分でなく、クリア?からの意見が出なかった。
- ・ ポスターセッションの時間をもう少し長く取っていただきたい。
- ・ 午前のWS1,2,3のメモを午後の全体討議で示してもらえてよかった。参加しなかったWSの様子が少しはわかった。全体討議は、もう少し人数を制限してもよかったのではないかな。

- ・ 参加型として時間不足だと思ったが、議論として課題や現状の実態はよくわかった。
- ・ 無駄がほとんどなく、スムーズにきくことができた。
- ・ WS は複数参加したい(せめて 2 つ)
- ・ 討論時間が短すぎる
- ・ ポスターセッションの時間をもう少し長く設けてほしかった。

2 あまり満足いかない

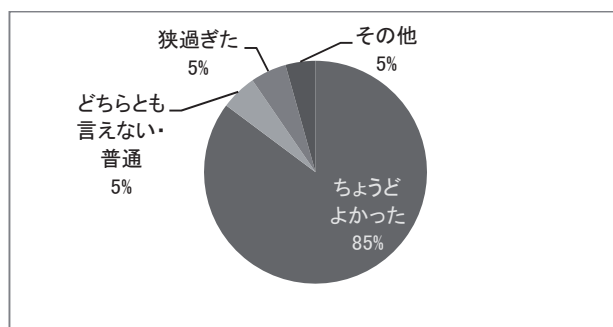
- ・ ポスターが入るので昼食をはさんだのだろうが、できれば午後だけで組めなかったか。
- ・ もう少し時間があってもよかったかも
- ・ WS はもう少しじっくり時間がほしい。
- ・ 長い
- ・ WS の時間、ポスター発表の時間が短かった。今後も定期的に disc.する場ができれば・・・
- ・ ポスター発表の時間をもう少しとって欲しかった。
- ・ WS をもう少し小規模なグループに分けて、ディスカッションできるような形式であればよかった。
- ・ ポスターの時間が短い。場所が狭い。配布資料の有無がバラバラで非常に惜しいと思いました。

1 不満足

- ・ 意見が出しにくく、時間的に少ない感じがありました。

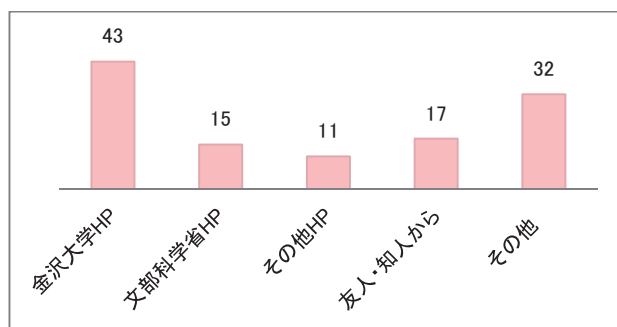
質問 10 本日の RA 研究会の各会場の広さは十分でしたか？

会場	人数
ちょうどよかった	98
どちらとも言えない・普通	6
狭過ぎた	6
その他	5
総計	115



質問 11 本日の RA 研究会をどのようにお知りになりましたか？

知ったきっかけ	人数
金沢大学 HP	43
文部科学省 HP	15
その他 HP	11
友人・知人から	17
その他	32
総計	118



質問 12 その他、本日の RA 研究会についてお気づきの点、ご意見・ご要望等ございましたらお聞かせください。

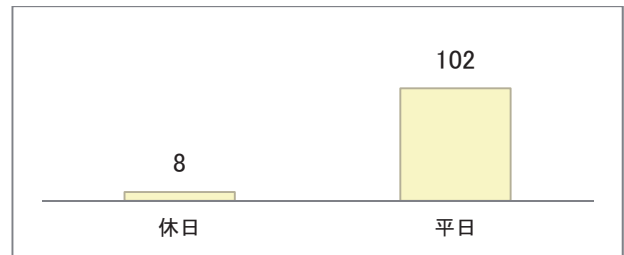
- ・ 企画・運営などお疲れ様でした。有難うございました。
- ・ 武田先生の意見を踏まえて、RA 研究会をどう発展させていくのか大きな課題があると思った。補助金が終了した後、どうなるかと思いました。
- ・ ぜひ今後も継続していただきたいと思います。個人の発表機会も多くとれるよう WS を増やしてもよいのではないかと思います。
- ・ 情報交換会と、より独立した機能・目的を目指しては？
- ・ 実務者の意見が出しにくく・・・するべき仕事は何なのか、意見が無いとため仕事の意見はでていないため実務者にとって、オーバーワークになるのでは？
- ・ 研究者からのニーズはあるものではなくて、作り出すものだと思います。研究者との相方向コミュニケーションで影響する
- ・ ワークショップ毎の人数が多すぎる(1 つの WS あたり 20-30 人位が望ましい) WS1-A,WS1-B のように少なくとも今回の半分くらいにしてはどうか？ 同じテーマで 2 つの WS を実施。WS の発表 format を提示(自己紹介、意見、質問)、ワークショップはレベル別にしてもいいかも。

- ・ 知識・経験のある方々からのインプットがとても参考になりました。スムーズな運営ありがとうございました。お疲れ様でした。
- ・ 企業の中央研究所などで研究取りまとめをしている様な人とのシンポジウム
- ・ RAの現状とRA研究会の活動を知ることができました。個人的にはRA研究会を通じて人的ネットワークを広げることができればと考えています。
- ・ ポスターセッションの場所が狭かった。
- ・ RA職を作っていくというかけ声の割に「事業年限・任期ありき」が強く感じられた。会の規模が大きくなった為、大学のレベル、特徴、地域特性等、足元が異なる人々がぼんやりと論じている感じがした。「あるべき姿」が同じでももう一歩なのか、夢物語なのか、参加者によってバラバラな事が原因の一つなのかと。参加者、参加機関の現状を相互に前提として共有できるしくみの導入が必要なのかと思います。産連の場合でも大学のレベル、地域性、人の主要産業、産業特性が共有できないと議論になりません。
- ・ UNITT、知財学会、産学連携学会などの連携について具体的に進めてほしい。
- ・ URA事業に不採択校の職員の立場としては、先駆的な大学の取組の情報を、本研究会を通じてお伺いできて、たいへん実のあるものでした。URAが大学の研究の質の向上のためのプログラムから生じた職種であることを考えると山崎理事の発言に賛成しますが、参加者のレベルに応じた分科会型(ワークショップ型)が、今後実を結ぶプログラムの形地になるのではないかと感じました。
- ・ 企画・運営、大変なお仕事だったと思いますが、大変勉強になりました。有難うございました。
- ・ 個人的な意見ですが、採択校内での情報をオープンにできるといいなと思います。RA研究会での取組と採択校の情報交換会をジョイントしてはいいかなと思いました。ありがとうございました。
- ・ ポスターの場所が狭かった。
- ・ スクリーンが大きい方がよかった。URAのスキル・用務が多かったが、必要となる資金についての視点も知りたかった
- ・ ポスターセッションは各大学の組織整備状況を知るのに役立った。できれば後は具体的な取組事例について知りたいが、どの程度公開できるか難しいところ。
- ・ スキルアップできる勉強会などしていただければありがたいです。
- ・ ポスターセッションの資料を配布物に加えて欲しかった。各大学のプレゼン資料はコンパクトに判り易くまとめられていた。
- ・ 分科会の形での運営が良いのでは？分科会開催の前に論点を共有し事前の調査を行い、当日は情報提供の場としてはどうか。分科会では毎回新しい手法や情報の提供を行い、マンネリ化を防ぐような工夫が必要。
- ・ もう少し時間的余裕があると良いと思います。学会化が必要だと思います。工学教育協会(例えば研修のポイント制度のようなものを作るなど)の「教育士」資格制度と同じような制度設計が一番現実的だと思います。
- ・ 今後も不採択機関も参画できる形で実施していただきたい。
- ・ 私自身がRAの仕事について明確に承知できていないためかもしれませんが、既存の類似の職種との違い(同様の事務職員も含めて)住み分けについて考えていただければ幸いです。
- ・ 気配りの効いた良い会議でした。
- ・ 科学コミュニケーションコミュニティとの情報交換をしてはどうか？
- ・ 研究会としては規模を大きくせずに、各機関の代表者が集まればよいと思う。今回対象が広く立場も異なるため、情報交換・交流の場としては有効なのだと思う。
- ・ 時間が伸びた時は、次の人(最後の人)はうまく切り上げて、スケジュール通りに終わって欲しいと思いました。
- ・ ランチョンセミナーがあつて楽しかった。全体討議の最後30分くらいの議論(次回開催について)がよかった。最後の統括コメントもよかった。
- ・ 色々なステークホルダーとのネットワーク化は、役割をアピールするには有能であると思う。
- ・ 現状のRAについて、最初に総括するフェーズ(概説)を設けてほしい。RU11→RU15になっていることを知りませんでした。
- ・ ランチョンセミナーが面白かった。具体的なソフトウェアを用いた分析手法を紹介してもらって参考になった。RA研究会自体は討論が中心だが、スキルアップという観点からランチョンセミナーではいつも何か研鑽の場を提供してもらえたらありがたい。
- ・ これまで年1回だったが、もっと頻繁に開催すべきだ。
- ・ もう少しポスターの時間が長く、場所もゆとりがあればよかった。URAは大学でそれぞれだ(WS1)と結構いきっていた中コミュニティは難しそうだが、共通の部門?を見出して情報交換というゆるやかな場?ではどうだろうか。
- ・ 今後、機関をこえたRA実務者どうしのネットワーク強化のため
- ・ 各大学でのURAの業務、立場がそれぞれ全然違うことに改めて驚きました。色々とお話を伺う中で、本学の目指すURA像がどのような位置づけで、どういったタイプなのかより見えてきました。寒かった。
- ・ discussionのポイントが、研究現場から離れがちになっている。
- ・ 冷房が効きすぎており、ちょっと辛かったです。URAという職務について、全員一致の定義付けは難しいなと感じました。
- ・ 当初の草の根的雰囲気は薄まった気がします。議論が煮詰まってきたせいかもしれませんが、今後のプログラムは確かに課題になりそう。
- ・ 後向きな意見はあったが、ここは前向きに進めていただければと思います。(単に進め方の問題です)
- ・ 議論にもなっているが、そろそろ会の方向性をかえるべき。その上で運営等をかんがえてもよいのでは？
- ・ WSを3つにわけたのは大変よいアイデアと感じます。
- ・ 新しい参加者も増えると思いますが、うまくまとまっていくことを期待しております。
- ・ 文科のRA事業関係者以外も参加できる研究会としたい。
- ・ 金沢大学、東京農工大の事務局の方々、お疲れ様でした。我々は今からスタートですが、大変参考になりました。

【今後のRA研究会のあり方について】

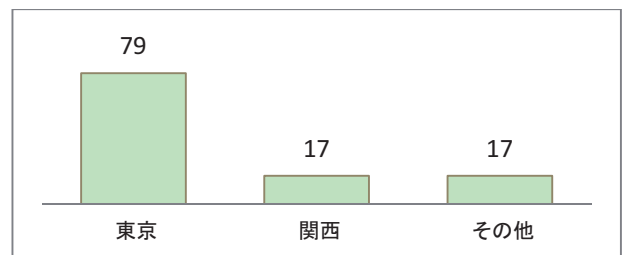
質問 13 RA 研究会の開催日のご希望についてお聞かせください。具体的なご希望（曜日等）がある場合は括弧内にご記入ください。

開催希望日	人数
休日	8
平日	102



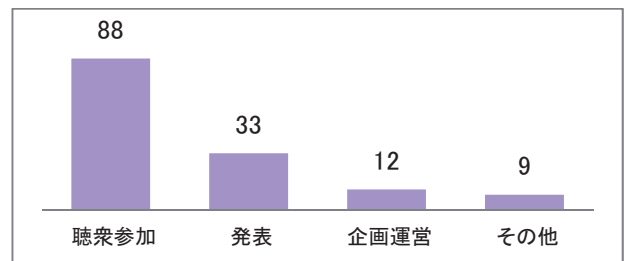
質問 14 RA 研究会の開催地のご希望についてお聞かせください。具体的なご希望場所がある場合は括弧内にご記入ください。

開催希望地	人数
東京	79
関西	17
その他	17



質問 15 RA 研究会は今後も活動を継続していきたいと考えております。あなたは今後の RA 研究会にどのように関与したいと思いますか？

関与	人数
聴衆参加	88
発表	33
企画運営	12
その他	9



質問 16 RA 研究会に参加する有志が、一般社団法人大学技術移転協議会の協力を得て、昨年よりメーリングリストによるネットワーキングを始めております。このメーリングリストでは、当面、RA 機能を現在担っている、もしくはそのような業務を希望する個人を対象に、キャリアパスや RA 機能の発展について考えていくための広い視野と正確な情報を、出来るだけ容易な形で提供することを目指しています。

メーリングリスト	人数
登録を希望する	96
登録を希望しない	26
総計	122

